

M. 5577.

PROF. DR. S. MATSUMURA  
6000  
ILLUSTRATED INSECTS  
OF  
JAPAN-EMPIRE  
1931

日本昆蟲大圖鑑

理學博士  
農學博士  
松村松年著

東京 刀江書院

日本昆蟲大圖鑑

♀



加ふ。四國地方に少なからず。

分布 本州、四國。

色を帯び、翅底は淡黄褐。平均棍は黄白。脛節は黒褐、跗節は褐色。體長八九厘。この幼蟲は麥の葉内に潜入して時に大害を

九 潛蠅科 Agronomyzidae

頭大、額は廣く、剛毛なし。觸角は短く、第三節は普通球形、時にその少しく長きものあり、端刺には毛を有するものと然らざるものとあり。翅は廣く、後底室を具へ、中室は前底室よりも長きか若くは同長なり。幼蟲は植物の葉中に潜入して有害なり。本邦學名を有するもの一種あり。

ナモグリバへ……………(一五)

*Phytomyza nigricornis* Maeg.



♀

體灰黑色。頭黄色、頭頂に一暗色紋を裝ふ。觸角黑色。翅は大にして體長より長く、脈黄白。平均棍白色。脚は黒色。脛節の末端は暗黄。體長六厘内外。幼蟲は豌豆及び十字科植物の葉中に潜入して大害を加ふ。

分布 北海道、本州、歐洲。

一〇 猩猩蠅科 Drosophilidae

*Drosophila*

額に長毛を有す。觸角の第三節は卵形又は球形にして、初めの二節は小なり、端刺に長き細毛を生ず。腹部短し。翅の第一脈は一本にして分離せず。後肢の第一跗節は長しと雖も次節よりも長からず。中室及び後底室は癒合して一室となる。幼蟲は味噌、醬油及び酒に蕃殖す。本邦學名を有するもの數種あり。

ホシシヤウジヤウバへ……………(一六)

*Drosophila histrio* Meig.



♀

體は淡黄褐。複眼赤褐。エゾニカ形。腹部は黄色、初三節の兩側に各二個、四、五節の兩側に各一個の黒紋ありて、何れも三角形を呈し、光澤を帯ぶ。翅は少しく黄色を帯び、

横脈の兩側は暗色、翅端も少しく暗色を帯ぶ。平均棍は灰白。脚は汚黄色。額及び頭下は淡色。觸角は少しく濃色。體長一分。これは厨房に普通なり。

分布 北海道、本州。

p. 366  
三六六

附書—これは翅端及び横脈上に暗色の曇状紋を有するによりて原種と區別せらる。

オビシヤウジヤウバへ……………(一五七)

*Drosophila funebris* F.

體は暗褐。胸背の前縁及び兩側は淡色。腹部は

黒色、各節の前後縁は汚黄色、前縁帯は廣し、腹面は

灰白。翅は透明、少しく汚

黄色を帯び、脈は褐色、虹色を帯ぶ。平均棍は灰白。



複眼は赤褐、顔の下面及び下唇は灰白に近し。

脚は汚黄色、跗節は少しく暗色を帯ぶ。體長一分四厘。これは札幌地方の厨房に普通にして、味噌、醬油、酒等に蕃殖す。

分布—世界共有。

附書—著者の所有する普通シヤウジヤウバへは前記の二種にして、從來同定せられたる *J. obscurus* Fall. 及 *J. D. melanogaster* Meigs.

の標本なき爲め爰に圖を掲げて説明することを得ず。而して著者の鑑定によれば札幌地方の狸々蠅は多く本種にしてメラノガステルにあらざるなり。

スズキシヤウジヤウバへ……………(一五六)

*Leucophenga suzukii* Mats.

體は淡黄褐。複眼は灰白(精酒標本)、中央は暗

色。觸角は地色よりも淡色、端刺及び下面三分の

一の處に毛を有せず。稜

狀部に四剛毛ありて、二

個は末端にあり。翅は透

明少しく汚黄を帯び、横脈と横脈との距離は第

三室の半長よりも短かし。平均棍は黄白。腹部に斑紋を缺き、尾端の突起は光澤ある赤褐。脚は地色。體長八厘一分。この幼蟲は櫻桃に寄生す。京都及び青森地方に普通なり。

分布—本州。



斑蠅科 Trypetidae

頭半球形、口縁に長剛毛を裝ひ、口吻長し、額

は幅廣く、兩側に細毛を生ず。觸角短く、稀に

長きものあり。鱗狀瓣は退化して、小なり。胸

腹には多く剛毛を粗生し、後者は四乃至五節より成る。脚は長く、脛節端に刺を缺く。翅には

普通斑紋を具へ、長大なり。幼蟲は多く食草性にして、或るものは植物の莖莖に潜入して食害

し、又或るものは果實中に蠢入して大害を加ふ。本邦學名を有するもの數十種あり。小形なるもの多し。

ミスチミバへ……………(一五九)

*Dacus bezzii* Miy.

體黒色。頭黄褐、頭頂に數個の暗色紋を具へ、顔

に二紋あり。口吻

褐色。觸角は黄褐

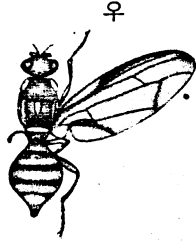
内側は淡黄褐。胸

に黄色の三條あり

肩及び胸側紋は淡

黄褐。平均棍黄色。

翅透明。少しく黄色を帯ぶ。腹部黒色、第一節及び各節の後縁は黄褐、第五、六節は黄褐、第



II. Shonen Matsumura (1931)

6000 illustrated insects of Japan Empire.  
*Drosophila funebris* is commonly found  
in kitchen room near ~~the~~ Sapporo-City  
(nothern area of Japan), depositing eggs  
on the bean paste and soy source.

From Dr. Hori, Kawazawa, Japan, March 1960

III Shonen Matsumura (1932)

Conspectus of Japanese injurious insects.  
*Drosophila obscurus* deposits on the soy source  
and bean paste. Bean paste is occasionally  
received the great-damage.